

聖愛

十月号
原町聖愛保育園
二〇〇六年九月三十日発行

運動会を目前に控え、目を輝かせて毎日練習に取り組み子どもたち。秋の涼しい風を体に受けて、気持ちよさそうに走ったり、ジャンプしたりしています。子どもたち一人ひとりの大きく成長した姿を競技を通して、感じて下さい。

やり遂げて得る喜び

年長組の鼓笛隊は、年下児の羨望の的です。はな組の子ども達は、「ぼくはあれやる。わたしも」と言葉を取り合いながら、練習を熱心に見ています。練習は運動会の3カ月前から始まります。いやもつと前の年少クラスの時からトントトントンと口ずさんだり、棒や箸などで叩いたり、指揮者の動作を真似たりして、気持ちでは練習が始まっています。

年長組、いよいよ自分達がやる番です。練習を開始する前に使用する全ての楽器(指揮棒)に自由に触り、その後を担当するものを希望で決めます。練習を始めてみると、今まで格好良いと思っていたことや、自由にやられて面白かったことは違って、リズムもメロディーも決められたようにやるのはそう容易いものではなく、難しい・出来ないという現実と直面します。

難しいことへの取り組み方はそれぞれで、自分が納得するまでやってみる子。少しやってみて出来ないと言くと、別の楽器にしたいと言いつつ出ます。できなくても集中も工夫もなく練習の時を何となくやり過ごす子。とさまざまです。しかし、やり続けることで、耳で覚え、目で覚え、体で覚えて皆確実に上達します。難しそうと簡単に途中で投げ出したり、止めさせたりしたら、この結果はありません。また、自分勝手に続けていても、目指すところも辿り着くところもなく、実りのある成果は導かれませんが、そして何よりも大事な、やり遂げて得られる達成感を味わう体験はできないでしょう。

少し難しいことでも、続ける時間の経過と共に出来るようになり、さらにそれが認められて喜びを感じる、このことが達成感に繋がります。この感じる体験は、本人以外の者は親であっても与えては出来ないものです。

保育園の鼓笛隊は、曲やリズムを覚えるだけが目的ではありません。運動会当日は観客の皆様と一緒に、感動を味わって下さい。園長 遠藤美保子

10月の保育目標

主題 0,1,2歳児「やったあ」



3,4,5歳児 「はずんで」

暗唱聖句：ヨナは三日三晩魚の腹の中にいた。

ヨナ書2章1節

クラス	保育目標	保育内容	保育者の援助
てんし	0歳児 身体全体を使って動き、興味や関心を広げる	・戸外探索や散歩(歩く、登る、降りる) ・砂や葉に触れて遊ぶ。 ・かくれんぼ、まてまて遊び ・おままごと遊び	・戸外で過ごす時間を多めにし、体を動かせるよう働きかけると共に、木の実や葉っぱなど自然の物にも関心が出るよう一緒に見たり、触れたりする。 ・自ら動いてみようとする事が出てくる時期なので、誘いかけをしたり、何かを一緒に見つけたら喜んだり、やってみようとする気持ちを引き出せるようにする。
つぼみ	1歳児 ・戸外遊びや秋の自然の中の散歩を楽しみながら、周りのものに気づく ・全身を動かし、遊びを楽しむ	・追いかけっこ(くぐる、登る) ・自然に触れる(草花、虫探し) ・木の実や木の葉を使って(楽器作り、穴通し) ・収穫を喜んで(ハサミ、絵の具、粘土)	・木の実や木の葉、草や虫など秋の自然に触れ楽しんだり、デコボコ道や傾斜面、階段などを歩き、様々な経験が出来るようにする。 ・一人一人の興味のあるものを捉え、くぐる、またぐ、登るなど様々な運動体験が出来るように誘いかける。
はな	2歳児 ・保育者や友だちと一緒に全身を使って動き、遊びを楽しむ。 ・秋の自然に触れ見つけた物に興味を持つ	・追いかけっこ ・ルール遊び(かくれんぼ、しっぽ取り、かごめ、かごめ) ・散歩(歩く、登る) ・固定遊具(登る、ジャンプ)	・園外へ出掛け、周りの景色を見たり、木の実や草花に触れたりし、身近にある自然に興味を持てるようにする。 ・簡単なルールのある遊びは全身を動かせるものを提供し、保育者が仲立ちとなって友だちと一緒に遊ぶことを楽しめるようにする。
ファミリ	3歳児 友だちとの関わりの中で、一緒に遊ぶことの楽しさを感じる	<室内> ・福祉展作品作り(つき) ※1 ・染色小袋作り(つき) ・運動会競技物制作(つき・ほし) ・小石や流木のペンダント(ほし) ・マフラー作り(ほし) ※2 ・魚を描く(なみ) ※3 ・指先を使ってうさぎ作り ※3	※3 はさみやのりを使うなど、指先を使う場面を提供し、難しい子には使い方を知らせたり、手伝うなどの援助をする。 ※4 並ぶ順番を守ったり、決められた場所を走るなど、ルールを理解できるよう繰り返し知らせていく。
	4歳児 積極的に参加し、見たこと感じたことを様々な形で表現する。		※2 工夫したり試したりする中で素材の面白さに十分触れる、また友だちのしていることに刺激を受け、やってみようという思いを引き出せるようにする。 ※4 簡単な遊びのルールを理解し、楽しむ中で面白さが感じられるよう競い合ったり、時には自分の意見を言ったり、友だちの思いを受け行動できるよう仲立ちをする。
	5歳児 友だちと力を合わせ、一つのことをやり遂げた達成感や満足感を味わう	<戸外> ・かけっこ、リレー(全員) ・集団遊び(鬼ごっこ、陣取り、警ドロ) ※4	※1 子どもの想像力やイメージを膨らませられるような教材や会話の提供を心掛け、子どもの意思を尊重し、満足のいくまでじっくり取り組めるように環境を設定する。 ※4 子どもたち自身が遊びを考え出し、運動会で経験したことを遊びの中で活かし、更に遊びを広げていけるように助言やアドバイスをする。

◎ 10月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
2 (月)	運動会総合練習②	年長会議
3 (火)	交通安全教室	聖書研究 めぐみの会 ほれん役員会
4 (水)	運動会総合練習③	職員会議
5 (木)	小人さんの音楽会	年少会議
6 (金)	お月見お楽しみ会	
9 (月)	体育の日	職員研修旅行
10 (火)	合同礼拝	マネージャー会議
11 (水)	子育てサークル (ブーさんG) 職場体験 (原町第一中学校生)	運動会最終打ち合わせ 
12 (木)	運動会総合練習④	
14 (土)	運動会	
17 (火)	ポップコーン (クラブ活動)	構造化会議
18 (水)	子育てサークル (合同)	企画会議
19 (木)	小人さんの音楽会	
20 (金)	世代間交流「ハイク」(ほし)	福祉まつり準備
23 (月)		健康診断 (年少)
24 (火)		聖書研究タラントの会 園内研修
25 (水)	しゃりん梅訪問 (ほし)	健康診断 (年長)
26 (木)	ポップコーン (クラブ活動)	
27 (金)	引渡し訓練	給食会議
28 (土)	保育参観、世代間交流 「こんにやく作り体験」	
29 (日)	保護者会主催「食育体験」	
30 (月)	さつまいも掘り・芋煮会	

【お月見お楽しみ会】 10/6 (金) 全園児

<礼 拝> 9時40分～

<お楽しみ会> 9時50分～

- ・お話「お月見の由来」
- ・影絵「お月様の子ども」
- ・歌「十五夜さんの餅つき、虫の声」



お月見 (十五夜とは)

お月見の起源は月は欠けては満つことにちなみ、ものの結果したことに感謝するお祝いの儀式でした。

また、生命の満ち欠けへの連想から、自分に生命を繋いで下さった先祖の霊を忍ぶ日でもあったのです。

十五夜では、「十五」にちなみ、十五個のお団子をお供えます。地方によっては、「芋名月」と言ってお団子の代わりに、畑でとれた芋や栗を供え、収穫を感謝するところもあります。

【保育参観、食育体験】 10/28 (土)、29 (日)

今回は、保育参観と保護者会レクリエーションを組み合わせ、二日にわたって開催し、「こんにやく芋からこんにやくを作る」に挑戦します。いつもお世話になっている二見長栄会の方々とともに、楽しく体験し交流を深めます。

詳細については、後日お知らせしますので御覧下さい。

【健康診断について】 

23日 (月) 13:00～健康診断 (てんし、つぼみ、はな)

25日 (水) 13:00～健康診断 (ファミリークラス)

※結果は、実施後個別にお知らせいたします。

【楽しいな運動会】

10/14 (土)



子どもたちは運動会に気持ちを向けて、運動会遊びをいっそう楽しんでます。各年齢や各クラスの取り組みも意欲的であり、当日を迎えることが楽しみなようです。

各クラスの取り組みの様子や競技の見所を少しご紹介します。

- 年少クラス
てんし組→物をつかむなど手先を上手に使用して、遊びの幅が広がり、物の出し入れを繰り返して楽しんだり、片付けが上手に出来たので、分別をするところも是非ご覧ください。
つぼみ組→保育者との追いかけごっこ。追いかけられるドキドキ感を楽しんでいます。時にはお魚になって追いかけごっこ。
はな組→高い所からジャンプ出来るのが嬉しく、ジャンプの仕方を自分なりに工夫・試しながら面白さを見出しています。

●ファミリークラス
満喫した川遊びを、競技で再現したり表現したりします。ファミリークラス全員で、男児のみ、女児のみ、異年齢でペアになってやる競技など様々な組み合わせも見所の一つです。

年齢や発達に応じて、工夫を凝らした内容になっています。子どもたち一人ひとりの活躍にもご注目下さい。

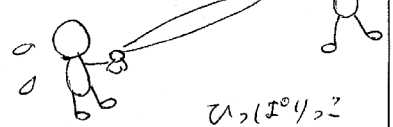
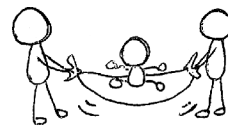
【親子で遊ぼう】

大人も子どもも、全身を使って活動 (遊びや運動) することが少なくなっていないですか？

成長が著しいこの時期の子どもたちには、様々な活動を通して全身を刺激し、たくさん経験させることが大事です。全身を使ってダイナミックな遊びをするためには、まず大人の働きかけが必要です。遊びに誘い、手を貸してゆったり一緒にゆったりすることで、苦手なことでも頑張るといった気持ちが引き出されることが多くあります。

子どもたちと遊び、汗をかくことの気持ちよさや触れ合うことの喜びを親子で感じてみましょう。ぜひ試して遊んでみて下さい。

① シーツやタオルでゆ～らゆら

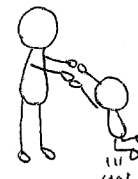


ひっぱりっこ

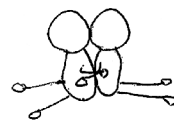
② 全身を使ってる



おぼるのよう
ぶらぶらがる



カエルのよう
ジャンプやタマ



「1・2・3ぞ立つ」
タイミングを
合わせる事が
ポイントです!

この逆ぞ向き合い、足裏を
合わせて、「ギューン・バツン」
することも楽しいですよ。

【引渡し訓練】 10/27 (金) 全園児・参加保護者

大地震が発生したことを想定して、引渡し訓練を行います。二見町団地 (第三避難所) に避難します。

※詳細については後日、手紙にてお知らせいたします。

【健康福祉まつり】

日時 : 10月21日 (土)～22日 (日)

場所 : サンライフ南相馬・原町区福祉会館・保健センター
市内の保育園の子どもたちの絵画や制作した作品を展示します。

保育園からは、つき組さんの作品を展示する予定です。

◇開催中に、是非ご家族でお出かけ下さい。◇

